

令和3年5月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。最新号の特集は、「道路貨物輸送」です。社会、経済を支えるライフラインである道路貨物輸送の様々な課題解決に向けた欧州や米国の取り組みに関する論文が掲載されています。皆様の業務の参考になれば幸いです。ぜひご一読ください。

1. ROUTES/ROADS 最新号 (388 号)



【特集】道路貨物輸送

【今号の発行にあたって】

第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称：カルガリー冬期大会）は、2022 年 2 月 7 日から 11 日の間、昨今の世界的なコロナウイルス感染拡大の影響を受け、カナダ大会組織委員会、PIARC 事務局、PIARC 実行委員会における協議・検討の結果、カルガリー市での現地開催ではなく、バーチャル形式にて開催することが決定しました。

巻頭記事では、PIARC ヴァンルーテン会長がカルガリー冬期大会について以下のとおり述べています

（以下、本文要約）。

コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、多くの国の方々が国際会議に出席することが難しい状況にあります。しかし PIARC は、冬期サービスやレジリエンスに関する知識や経験の共有を会議の場で図っていくことが非常に有益であると考え、バーチャル形式での大会開催を決定しました。参加者が最大限にメリットを享受できるよう英語、フランス語、スペイン語の 3 カ国語を大会使用言語としました。バーチャル開催により、大会参加者は旅費や宿泊費を支払う必要がなく、通常の大会に比べ費用を抑えるメリットが生まれます。このためより多く参加者を見込めると考え、論文概要の提出期限を 1 か月延期しました。その結果、世界各国から更に多くの論文概要が提出されました。

バーチャル形式での大会開催は PIARC 史上初めてとなりますが、革新的な大会になると確信しています。皆様にも奮ってご参加をいただきたく、よろしくお願いいたします。

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 -4 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 -13 頁
- 【今号の特集】
- ✓ 貨物輸送：過去・現在・未来における経済と社会のライフライン -19 頁
- ✓ 高速道路での大型トラックの車間距離とその全体像 -21 頁
- ✓ 米国テキサス州における貨物輸送の課題とニーズに対応する応用技術の特定 -27 頁
- ✓ オーストリアにおける適切な物流地域を特定するためのエキスパートシステム -31 頁
- ✓ 道路貨物輸送の脱炭素化のソリューションとしての水素の活用 -35 頁
- ✓ 道路貨物輸送の人的側面に注目 -39 頁
- ✓ 動的軸重測定と大型車両について -41 頁

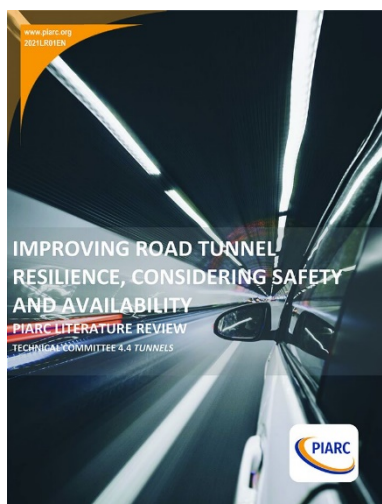
3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

【レポート名】

安全性と可用性を考慮した道路トンネルのレジリエンスの向上

【レポート概要】

道路トンネルは、世界各国どの地域においても人の移動や物資輸送にとって必要不可欠なインフラのひとつです。しかし、トンネルでの事故や火災等による交通安全リスクは、閉鎖空間であるため他インフラに



比べ比較の高い傾向にあります。そのため、トンネル管理者は様々な安全対策設備を設置し、レジリエンスが向上するよう取り組んでいます。しかしながら、トンネルの維持管理には道路閉鎖などが必要となるため、一時的な交通の妨げとなることなど、様々な課題が残されています。

本レポートは、円滑な交通確保に重要な役割を果たすトンネルのレジリエンスに関する文献のレビューを以下のトピックに焦点を当て実施したものです。

- レジリエンスの一般的な概念とアプローチ
- レジリエンスの分類と要件
- 法規制、基準、戦略
- 様々な事象に対するレジリエンス向上対策
- レジリエンス向上のための組織的・経営的な視点

本レポートの最後には、提言、参考文献リスト等も含まれていますので、業務の参考になれば幸いです。

PIARC ウェブサイト レポート紹介ページ ⇒



【レポート名】

気候変動の影響下における地方道路の土工構造物の保全のあり方

【レポート概要】

気候変動は道路の施工及び耐久性に大きな影響を及ぼします。そこで各地方の気候に適応した道路の

施工や維持管理の手法の導入が重要となってきます。

本レポートは、気候変動が特に地方道路において盛土や切土等の土工構造物に与える影響と、それに対する優れた取り組み事例等について、設計、施工の観点から取りまとめたものです。地方道路、気候パラメータや各クラスターの定義、気候変動の影響を考慮した施工、資産管理に関する各国の事例が含まれています。業務の参考になれば幸いです。

PIARC ウェブサイト レポート紹介ページ ⇒



4. 第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会

第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称：カルガリー冬期大会）は、2022年2月7日から11日の間、完全バーチャル形式にて開催されます。当初の会期は、2月8日から11日までとなっていました。セッション数や時差を考慮した結果、開催期日を1日追加することになりました。

カルガリー冬期大会の論文募集につきましては、概要提出が締め切られました。結果として、372編（冬期サービス201編、レジリエンス171編）の概要提出があり、うち347編（冬期サービス194編、レジリエンス153編）が審査を通過し採択されました。日本からは39編の論文概要の提出があり、国別で比較するとはホスト国のカナダの提出数に次ぎ、2番目に多い数となりました。論文概要の提出をいただいた皆さま、どうもありがとうございました。

今後、大会プログラムの詳細や、展示会などの情報が公開され次第、道路協会ウェブサイトにてご案内いたします ⇒



PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局 武内: jun.takeuchi@piarc.org